

## 春-1 はじめまして

### 1. 活動の目的

- ①人間関係を作る第一歩として初対面の挨拶をする。お辞儀について知る。
- ②一緒に活動する日本語教室のメンバーに自己紹介する。印象に残る自己紹介を工夫する。
- ③自己開示して、自分を知ってもらう。

### 2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

- ・名札用の用紙 (B5 サイズぐらい)
- ☆名札のサンプル
- ・大きい紙 2 枚
- ・サインペン
- ☆職業名の各国語訳
- ☆作文用紙 (自己紹介を書くための用紙、人数分をコピー)
- ☆サイコロ

### 3. 活動の手順

**留**: 留意点    **参**: 参考    **発**: 発展的活動

#### 活動1

名札用の紙  
名札サンプル  
サインペン

- ・名札を作る。学習者の国の文字とかたかな (日本名はひらがな) 両方で書く。書くのが難しい場合はボランティアが手伝う。

**留** かたかなで書くのを手伝うときは、本人にどう呼んでほしいか聞く。  
例: 王偉→本人が「ワン」と言えば「ワン」、「オウ」と言えば「オウ」と書く。

- ・テキストに書いてあるパターンで一人一人挨拶する。作った名札を見せながら、日本人にもわかる発音で名前を言う。

#### 活動2

- ・導入文は、ボランティアが読んで聞かせてもいいし、学習者が二人ペアになって読んでもよい。

**参** ボランティアが2、3人いるときは、一人が読み、あとのボランティアがその場を「演じる」と楽しい。その際、右手を出したマリアさんがお辞儀を返されて困惑した様子や、夫のお母さんが畳に座ってお辞儀をする動作などを見せる。

- ・全員立って、お辞儀を練習する。頭だけ倒したり、背中を丸めたりしないよう言い、きれいなお辞儀は好印象を与えることを説明する。
- ・活動1の挨拶をもう一度して、言い終わったらお辞儀をするところまでやってみるとよい。

**参** お辞儀には会釈 (30 度ぐらい上体を傾げる)、普通のお辞儀 (45 度)、丁寧なお辞儀 (90 度) がある。学習者の生活場面やニーズに応じて、紹介する。

### 活動3

作文用紙

大きい紙

職業名の各国  
語訳（必要で  
あれば）

・李さんの自己紹介を読む。これは次の活動の「印象に残る自己紹介」の例として挙げてある。

**留** ボランティアが李さんになって自己紹介のモデルを見せるときは、「李恬甜」を紙に書いて、「てんてん」が違う漢字であることを示す。

- ・自己紹介でどんなことを話せばいいか、全員で考える（ブレインストーミング）。ボランティアは出た項目を大きい紙に書く。
- ・話し合った中から（あるいはそれ以外でも）、3つぐらい話したい項目を選び、自己紹介を書く。その際、ありきたりの自己紹介ではなく、李恬甜さんの自己紹介のように、楽しく印象に残る自己紹介を考えるよう言う。
- ・書き終わったら、一人ずつ自己紹介してもらおう。ボランティアも自己紹介する。

**留** 自己紹介を書く時間は10分程度とする。  
表記ミスや文法の間違いの訂正はこの活動の目的ではないので、しないか、最小限にとどめる。

### 活動4

- ・学習者が書いた自己紹介の作文を集め、他のグループメンバーに再配布し、コメントを書いてもらう。書いたらまた本人に戻す。
- ・だれからどんなコメントをもらったか、発表する。

### 活動5

サイコロ

大きい紙

- ・サイコロを用意する。ボランティアは大きい紙にトピックを6つ書き、学習者に意味が分かるかどうか確認する。

トピック例 ※トピックは学習者に合わせて準備する。

1. 日本でびっくりしたこと
2. 最近、腹が立ったこと
3. 最近、うれしかったこと
4. 私の大失敗
5. 私が一番大切にしているもの
6. 100円あったら、何に使う？

- ・学習者はサイコロを振って出た番号のトピックについて話す。全員がサイコロを振ったあと、5分ぐらい考える時間をとる。そのあと、一人ずつ話す。何回かサイコロを振って繰り返す。

**留** サイコロを振ってすぐに話すのは難しいので、考える時間をとること。ボランティアも‘サイコロトーク’に加わる。